



トリカゴヒメ

(The Birdcage Princess)

SilverSoul / 9 beiYagyuu Fanbook

20070617/DNA.Lab./RisaMiyasu

ForAdultOnly



トリカゴヒメ

(The Birdcage Princess)

SilverSeal / 9betYagyu Fanbook
20070617/DNA.Lab./RisaMiyasu



東城

東城……っ

と……と……と……

どうしよう
どうしよう
東城

ボク

ほろ
ほろ
ほろ

泣き虫で
甘えん坊だった若は
絶望と葛藤を
押し殺して

柳生家の決めたとおりの

やっぱり

男の子には
なれないよ……

男として生きることを決めた

東城
何度言ったら
わかるんだ

ボクはこういう
ひらひらしたのは
着ない



ああデザインが
お気に召しませんでしたか

そうじゃない

ボクにはこういうのは
必要ないだろ

ほろ、

♡

えー絶対似合うのに
少ない給料から
捻り出して買ってるんだから
着てくださいよもったいない

そんなに
勿体ないなら
お前が着ろ

こないだ
お妙殿に
着せてもらったじゃ
ないですか

きれいな着物が
着たいって
言ってたし

あ…あれは

お妙ちゃんの頼み
だったから…

そのわりに嬉しそう
だったじゃないですか

前に無茶やったし
これ以上好き勝手するわけに
いかないだろう
門下生の手前もあるし





若が男に触られるのが嫌なのは
自分が男じゃないってことを
思い知らされるからでしょう？



それも本当は
不安の一つでしょう

っ…いっくら
小さくたって
剣があれば…っ

な

そんなことが
あるものが

何を根拠に…

手だけでもうこんなに

大きさが
違いますもんね



力だけだったら
私のほうが
強いでもんね

やめ…っ

本当は私たちが
手加減してるんじゃないかと
思ってるんじゃないですか



わるなっ…
…東城!

どうしてですか
昔はあんなに
私を頼ってくれたのに

もう…っ

一人前に
ならなきゃ
いけないんだ…っ



一人前になるならなおさら
男嫌いを克服しないと

ちよつとまて

何す…っ

私が直して
さしあげますよ

やめ…っ



だめですよ
夜中に大声出したら

みんな起きちゃう
でしょう

...

だ だって

ボクは

そういうのは
全然……



……



私は若を
少々過保護に育てすぎました
若が頑なに男でいようとするのは
そのせいかもしれません

う…
東城
何を…

いいですか 若

私がこれからする事は
年頃の女の子なら
誰でもしている事です

う...うそだ

妙ちゃんは
そんな話
してなかった...!

ああ

やはり若には女の子で
いてほしい
また昔のように
私を頼ってくれるように

ほ ほんとに
他の女の子は

みんな知ってること
なの かな?

人にする話では
ないんですよ

いいですか 若

う

だから 最低な私は
素知らぬふりで嘘をついた

そうですよ

と 東城……

ポ ボクは
何にもしなくて
いいのか

いいですよ とりあえず
私に任せて下さい

うう……

は
恥ずかしいから
あんまり見るな……!

困りましたね
見ないと出来ませんよ

は

かわいらしい
おマンコですね
若

あ、あ、

あ、あ、

痛いですよ
痛いですよ

あ、あ、

東城……



なんか...
そこ...がっ

ヌルヌルして...

ハッ

ハッ

んく

んく

へ 変な感じが
する...っ
すすっ



はっ

ば ばかっ
広げ...っ

若はおマンコの中まで
綺麗なんですねえ

んく

んく

や やだ 変な事
言う
なああ...!



やめ...

若 溢れてきましたよ

東城おっ
んく

んく

んく

んく

やだ…っ
そこヌルヌル
するの…っ

あ

む…っ

胸も舐めたり
するの…っ

でも
気持ちいい
でしょう？

ははは

しますよそりやあ
若のおっぱいは

最高ですから…っ

ああ…
中もどんどん
濡れてきていますよ

ああ…若の中は
柔らかいですね
指をきゆうきゆう
締め付けてきます

びびる

若もうちよつと
続けますよ

ああ やつぱり
一回イくと
濡れ方が違って
いいですね

な...っ
何す...っ

どういよ...っ
ややだ
なんか敏感なんだ

だめっ
こすりつけちゃ...っ

ニニ
ニニ
た...ま
ふ...る...る...る...

これぐらいべたべただと
随分楽になると思いますよ

ちよつと我慢して
くださいね 若



ちよ...っ待って!
こわいからっ

若...だめですよ

ふ...
ふ...
ふ...
ふ...
ふ...



他の娘たちも
みんな我慢したんですから

若だけが我慢
できないだなんて...っ

力を抜いてください
いきますよ



か...
か...
か...
か...
か...
か...
か...
か...
か...
か...
か...

あ...っ!

あ...
あ...
あ...
あ...
あ...



こ...こんな...
こんなの...っ

ほんとに...

は

は...
は...
は...

もう少しです

もう少しですから 若...

は

は

は

みんな我慢してるの
か...っ

すぐに慣れますよ
そういうものですから

は...

少しずつ動きますね

は...
は...
は...

は...
は...
は...

は...
は...
は...

は...
は...
は...

は

は...
は...
は...

は...
は...
は...

は...
は...
は...

は...
は...
は...

は...
は...
は...

は

は

は...
は...
は...

は...



ほら どんどん
ほぐれてきましたよ
まだキツいですが...

アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ
アッ

アッ
アッ

アッ

アッ
アッ



アッ
アッ



深いほうが気持ちいいなら
もつと奥に行くように
しましょうか



な なんか...
おくに
あたると...
アッ
アッ

奥ですか?

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ
アッ
アッ
アッ



はあ...っ
あ...っ

はあ...っ
あ...っ

はあ...っ
あ...っ

FV
FV

はあ...っ
あ...っ

はあ...っ
あ...っ

はあ...っ
あ...っ

はあ...っ
あ...っ

はあ...っ
あ...っ

はあ...っ
あ...っ

はあ...っ
あ...っ

どうしました 若
大丈夫ですか？

……っ あのね
東城…ボク……

ボク
他の女の子と比べて
変じゃなかった…？

とんでもない！
今までで一番
素敵でしたよ

そ
う
か…

そういうと若は
俯いて黙ってしまった

若

やっと着ていただけましたか

ああ やつぱり
あなたは女の子だ
よくお似合いですよ

……

東城
ボクは……

ずっと……こんなふうにな
りたかったのかな……？





最高ですよ 若
お上手です

こころう?
東城...っ
ボク

ちゃんと出来る?
気持ちいい?

ふん...
ん

ん

ん

ん

ん



ほかの女の子みたいに...っ
なれるのかな...っ

ボ
ボク...っ

今からでもっちゃんど...っ
女の子に...っ

ん

ん

ん

こ
じつは
気持ちいい
かな...っ

んあ
はっ
はっ

はっ
はっ
はっ

はっ
はっ
はっ

はっ
はっ

はっ
はっ
はっ

はっ

はっ

あ...っ
たくさん出た...っ
すごい...っ

はっ
はっ
はっ
はっ
はっ

はっ
はっ

はっ
はっ
はっ

はっ
はっ
はっ

あ……
ちよつと
柔らかくなっちゃった！

また
舐めなきゃ……っ

今度は
若の番ですから

ん
ん
ん



ああ 若
それぐらいでいいですよ
また出てしまいます



ん
ん
ん

は
あ

ははっ

東城 ボクは
馬鹿みたいじゃないか

は

ボクは...本当は

みっともないぐい
女の子にっ
なりたかったんだ...

はっ

みっともなくなんて
ないですよ 若

みっともなくなんて

は

は

は

ほっ...

は

素敵なくらいを
見せてください...

は

は

は





女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子

女子



カカカカカカ
カカカカカカ
カカカカカカ

カカカカカカ
カカカカカカ
カカカカカカ

カカカカカカ
カカカカカカ
カカカカカカ

カカカカカカ
カカカカカカ
カカカカカカ

カカカカカカ
カカカカカカ
カカカカカカ

カカカカカカ
カカカカカカ
カカカカカカ

カカカカカカ
カカカカカカ
カカカカカカ

カカカカカカ

カカカカカカ

カカカカカカ
カカカカカカ
カカカカカカ

カカカカカカ
カカカカカカ
カカカカカカ

東城
おまえはそういえば

昔からボクの事を
ずっと女の子あつかい
していたな

当然ですよ
若は最初から女の子ですから

もう遅いですから

若
そろそろお休み下さい

……ふふ
父上が聞いたらどう思うかな

……うん



……それでも



あなたはずっと
悩み続けるのでしょね
若



それでいい
私はどこまでも
あなたについていこう

おやすみなさい

……
君

私は

あなたの苦しみをさえもいとおいしい



ぬあー ミヤスリサです。
なんだこのギリギリ感
銀魂の9ちゃん本ですよ…！
あんまりにもインナーワールドなので
なんだか私はいへんに恥ずかしいことをここに
明記しておきます。えへへ
9ちゃんかわいい、コンプレックスの塊ですお…！
またリベンジしたい、ぜひに
あと乳を勝手にでかくしてすまん

それでは また!!!!



2007.6.17
D·N·A.lab./ミヤスリサ
<http://www.kit.hi-ho.ne.jp/dnalab/>
dnalab@kit.hi-ho.ne.jp

禁無断転載・複製・複写



トリカゴヒメ

(The Birdcage Princess)
SilverSoul/9 beiYagyuu Fanbook
20070617/DNA.Lab./RisaMiyasu

ForAdultOnly